

令和4年度 看護ゼミナールⅡ（実践知の探究）の紹介

この科目では、3年次の看護学実習での経験を振り返り、「看護倫理」と「科学的思考」の観点で分析考察して、看護観を深化させる能力を養うことを目的としています。

まずは学生一人ひとりが実習中に体験した、ちょっと気になることをグループメンバーに自分の言葉で語りました。どのような状況だったのか、なぜそれが気になったのか。患者さんにとっても看護師にとってもよい状態になるためにはどうすればよいのか。メンバー全員で、互いの価値観の相違を尊重しながら話し合っていました。

各グループでの話し合いのプロセスや結果を、発表会で発表しました。グループ毎に様々な観点や手法で分析していて、興味深く聞くことができました。

今回身につけた倫理的視点をもとに、後期にまた看護学実習を行って、再びゼミナールを行います。こうやって「経験したことを振り返る」ことを繰り返すことで、自分がどういう看護を行いたいのかという看護観を深めていきます。

(看護学科 精神看護学：多田羅光美、土岐弘美、則包和也、
小児看護学：松本裕子、三浦浩美、舟越和代)

